

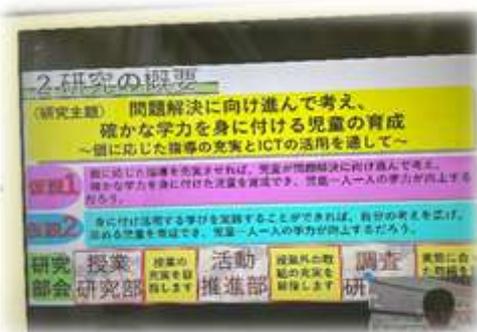
## 7月31日（水）検査

年に一度の**人間ドック**。体のメンテナンスです。暑い中数人が入り口に並んでいました。コロナ禍で実施してなかった**肺**（活量）の検査もありました。市内の教職員も何人か受診をしていることが病院内を回っている時に分かりました。一つひとつの検査を待つ時間、持ってきた2冊の本を読破できました。**健康**だからこそ検査を受けられるのですが、本当に健康なのかは数週間後に分かります。



## 7月30日（火）研修

**出張**や**オンライン研修**に参加する職員が増えてきました。午前中、職員室で仕事をしている者は数人になりました。私は12:50～**埼玉県算数数学夏季研修会**にオンラインで参加しました。義務教育指導課からの情報提供、長期研修に行った二人の先生の研修報告、研究委嘱校の研究発表、埼玉大学教授による講義と、盛りだくさんでした。これからの子供たちには「**どのような問題をどのように考えるか**」を**考える力**が必要になってくると言う話が一番印象に残りました。



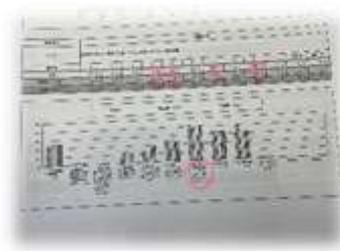
## 7月29日（月）算数

ウエスタ川越にて、令和6年度**人間地区学力調査**（算数数学）の報告会がありました。私も役員として参加しました。本校からも3名が参加しました。人間地区の小中学校から少なく見積もっても200人を越える先生方が参加していました。夏は、このように、調査の結果が次々と届く季節です。本校から参加した3名の職員は、次の**校内研修**でこの報告をしてくれます。算数の**授業改善**に、必ずや役立ててくれることと思っています。



## 7月28日（日）学力調査

金曜日、令和6年全国学力学習状況調査の結果が届きました。国語、算数、質問紙調査の結果が出たのです。全国の六年生の平均と扇っ子六年生の平均を比較し、様々な分析をしました。授業の課題、家庭学習の課題、扇っ子の良さも分かります。いつかは大学入学や就職をめぐって争うことになるかもしれない全国の六年生に、今劣っている部分については、学校課題として受けとめ、二学期からの授業改善に役立てていきたいです。



## 7月27日（土）お祭り

16時よりお祭りまわりを開始しました。3カ所に顔を出し、どこへいっても歓迎していただきました。扇っ子にもたくさん会いました。浴衣を着ている子もいました。お店のお手伝いをしている子もいました。おいしそうにアイスや焼き鳥などを食べて、自慢してくれる子もいました。学校と同じように鬼ごっこをしている子もいました。元気な子どもの笑顔は、お祭りの華。幸せな気持ちになる、夏の大イベント。暑さと雨だけが心配でした。



## 7月26日（金）五輪出場

教育相談日。校長室に訪れる保護者もいて、普段は話せないことを共有させてもらえました。午後は出張。その先二カ所では、パリオリンピックに出場する出身者がいるようで、市役所に掲示・展示されていました。職務を終え、学校に電話をすると「学力調査の結果が届いている」ことを知りました。文科省からの通知票。結果が気になるのですが、後日分析することとしました。



## 7月25日（木） 変革

本日は会議が2本、ブロック研修が2コマありました。会議は、研究発表会に向けての**研究推進委員会**と、**卒業式・入学式の準備委員会**です。入学時、一年生に必要な物は何かという話題になり、たいへん考えさせられました。**学習指導要領**も変わり、**教科書**も変わったのに、**ノート**は変わっていないことに疑問をもつ職員がいて、感心しました。もう一度、何が必要なのかを、**見直**していこうということになりました。これは持ち物だけではありません。式や研究の在り方も、同様です。



## 7月24日（水） 生徒指導・人権

本日は全体**研修**が2本（生徒指導、人権）、**ブロック研修**が2本ありました。**50周年行事**に向けた会議と**教員採用試験**のための研修会も、時間外に実施しました。その間にも、職員と様々な**協議**をしたり、**報告**を受けたりしていました。慌ただしく過ぎていった一日となりました。職員やその家族の中に**コロナ感染者**が確実に増えているのも感じています。暑くても換気とマスクが必須になりました。いろんな研修をしたり、いろんな人と、いろんな話をしたりで、頭パンクしそうなほど、充実した一日でした。



## 7月23日（火） 教育課程

朝、校内に入るとムツとした感じがします。前日クーラーを入れていない教室に入ると、ドツと汗が出てきます。一学期が終わったことを実感するひとときです。本日はほとんどの職員がオンラインによる**研修**です。教育課程に関する協議を、**各教科領域ごと**に実施されており、それに参加しているのです。休業日になると**来客**も増えてきます。本日も計四人の方が校長室を訪れました。また、**職員**も代わる代わるやってきます。普段ゆっくり話ができ



ない分だけ、長く話ができるのも、この時期の楽しみです。

## 7月22日（月）子ども食堂

職員室はいつも以上にぎやかです。一学期が終わり、夏休みが始まったことで職員も開放感があるのでしょう。本日は会議と作業、各学年の研修です。私は午後から出張。その場で子ども食堂の現状についての講義を聴かせてもらいました。子ども食堂は増え続け、今や全国の中学校よりも多くなったとのこと。その形態は様々であること。子供だけでなく地域のお年寄りなどの居場所になっていることなどを学んできました。



## 7月21日（日）お祭り

近所でもお祭りの準備や音が聞こえてくるようになりました。子供たちが楽しみにしている夏のイベントです。ある学校の近くに行くと、昨夜行われるはずだった盆踊りの準備がそのままになっていました。雨で延期になったのだと想像しました。昨夜はたいへんな豪雨でした。雷も鳴りました。暑さ、豪雨、感染、不審者などなど、昔と違って子供たちが注意することが増えてきた気がします。



## 7月20日（土）夏休み

本日から長い夏休みです。来週に備えて仕事をするため出勤すると、さすがに校庭には誰もいません。この暑さでは・・・とっていると、スポーツ少年・少女の声が聞こえてきました。熱中症を予防しながらの、張り切った活動が始まりました。近所の図書館に行くと、エコポスターコンクールの優秀作品が飾ってありました。「宇宙もゴミ箱にするんですか」。強烈なコピーですね。



## 7月19日（金）終業式・あゆみ×2

一学期終業式の日を迎えました。四月に始まった令和六年度、**あつ**という間に本日になった感があります。校長の言葉では「**クラスの友達とがんばったこと**」を各クラスで学び合ってもらいました。三年生のあるクラスでは、「テスト直し」「理科」「社会」「教え合い」「助け合い」「グー・ペタ・ピン」「係活動」「給食当番」「漢字50問テスト」などなどの発表がありました。担任の先生からも「はじめは学び合い・話し合いがちゃんとできているか心配だったけど、**どんどんよく学び合えるよう**になりました」と話があり、子供たちの拍手で式が終わりました。

担任から扇っ子一人ひとりに「あゆみ」（通知票）を手渡しました。一学期の**がんばり**や**これからの課題の一部**が記されたものです。ある子がうれしそうに、私に報告してくれました。「算数で**よくできる**があった。〇〇のテストでは**満点が二人**しかいなかった。その一人がぼくです」と。「よくできる」に刻まれた〇を見せてくれました。またある子は「漢字ができてなかったのは**分かってました**。二学期は漢字を特に**がんばろう**と思っています」と、とてもさわやかに力強く語ってくれました。

あゆみを一人ひとりに渡している間、**先生への**「あゆみ」を書いているクラスがたくさんありました。「優しさ〇、おもしろさ〇、教え方〇」などと、先生の評価をしてました。配布された**用紙**に書くクラスもあれば、**PC**で自由に書くクラスもあります。自由記述のクラスでは、**写真**を貼ってお礼を書いたり、嬉しかった支援を書いたり、中には、**あみだくじ**を作って「選んでください」と書いている子もいました。これには笑いました。サプライズで、手作りの**花束**を渡す計画をしているクラスもあり、感激しました。

## 7月18日（木）成長・ジャンプ・依存

朝の清掃活動。一年生の教室には六年生がお手伝いで



入ってくれています。ある教室に入ると、**六年生**三名が手持ち無沙汰なのか、**何もせず**に一年生を見ている。後で聞いてみると「一年生が**成長した**」「**早くなった**」「**もう教えることは何もない**」と言ってました。活動が素早くなった一年生の成長と、相手のことを第一に考えた支援の仕方ができるようになった六年生の成長に感動しました。

本校では、積極的に「**ジャンプの課題**」を子供たちに与えてきました。**教科書にない問題**、**答えが一つに決まらない問題**、**探求が続くような問題**です。子供たちに意識調査をしたところ、半数以上が「**たくさん挑戦したい**」と「**難しいけど楽しい**」と回答してくれていることが分かりました。扇っ子が「**がんばって負けずに**」勉強していること、「**肩くんで仲よく**」勉強していることが分かり、嬉しくなりました。

ネット依存の**低年齢化**を示唆する記事を見ました。調査によると10~17歳の子のネット利用が年々増えています。急増しています。この記事では、保護者に必要なのは、「**子どもへの干渉をやめ、ともに楽になること**」と書かれています。たわいのない雑談をしたり一緒に食事をしたり、**家庭のあたたかさ**を取り戻してほしい。そうすれば家庭が子どもにとって安心する場になり、ネット依存からの回復を促す。普段からそのような**雰囲気**がつかれていれば、防止にもつながるだろう、とまとめられています。



## 7月17日（水）かぶ・準備・一言

一年生が「おおきなかぶ」の音読発表会の練習をしていました。あるグループは「**うんとこしょ、どっこいしょ**」のところは**寸劇風**に行うようです。登場人物が全員そろって「**それでも、かぶは、抜けません**」と読んだところで、ナレーター役の子が担任と目が合いました。「**先生も一緒にお願いします**」。担任も参加して、「**うんとこしょ、どっこいしょ**」「**それでも、かぶは、抜けません**」でした。

**六年生の教室に入ると、楽しそうに何かを作成してい**



るグループがいくつかあります。人生ゲームを作っているグループが2つ。折り紙を折って何かを作っているグループが一つ。クラスの写真を並べて何かを作っているグループが一つ。何をしているか分かったのですが、聞いてみると「お楽しみ会の準備」だということです。準備している時間こそが最も楽しい時間なのかもしれません。一学期がんばったことを、確かめ合う時間なのです。

ある教室に入ると、担任が図工の作品を返却していました。「〇〇先生の一言も入っているから大事に持って帰って下さい」と指示がありました。数人が、その「一言」を私に見せてくれました。とっても嬉しそうに見せてくれました。「〇〇がたくさんかいてあって、とても楽しい絵になりましたね」などのコメントが裏に書いてあるのです。決して長いコメントではないのですが、子供たちにとっては心に刻まれる、素敵な言葉なのだと感じました。



## 7月16日（火）着衣・反省・一番

五年生が着衣泳に取り組みました。服を着たまま水中を歩くだけでも「重い」「疲れる」「たいへんだ」と感じたはず。クロールなどは、皆が途中で足を着いていました。平泳ぎも10m泳げる子はいません。途中で足をつけてしまいます。しかし、ペットボトルを持っての背浮き体験により、着衣でも助かりそうなことを実感したようです。水の事故は年々起きています。「慌てない」事が最も大事な事だと聞きました。



テスト返しの時間に出くわすことが増えてきました。「100点満点を見せてくれる」子ばかりではありません。半分も〇がない子もいます。しかしここからが勝負。間違えたところは反省し、直せばよいのです。ここで覚えたり理解したりすればよいのです。「分からなかったら友達に聞くこと」を昨年度から言い続けてきましたので、この時間も、回答直しを友達と学び合っている姿がたくさん見られました。



体育館の体育。マット運動に取り組む時間です。先生が「一番」を二回口にしました。「今日が**一番準備が早い!**」「今日が**一番、整列が早い!**」。おそらく本日この時間が、一学期最後体育でしょう。この先生の言葉によって、子供たちの活動も加速したようでした。いつもよりも慣らしの運動や技の練習が**スピーディー**に行われていた気がしました。技の**回転速度**さえも速くなったような。先生の声がけ一つで、こんなにも違うものなのかと驚きました。



## 7月15日(月) 海の日

三連休の最終日。本日は海の日です。HPのメッセージにも書きましたが、海の日はコロナ禍で何度か**日にちが移動**しました。本来は七月の第三月曜日。夏休み前の月曜日になることが基本です。近所には「**盆踊り**」や「**夏祭り**」「**ラジオ体操会**」を知らせるポスターがたくさん貼られていることに気づきました。子供たちが楽しみにしている長い楽しい休みがすぐそこにやってきました。



## 7月14日(日) 軌跡

50周年記念式典に合わせて、扇小の軌跡を**動画**にまとめてもらうことになっています。その**素材**とコンテ、**写真**などを用意し始めています。昨日、卒業アルバム等から探し出した**開校当時**の写真が右のものです。一言で50年といっても、人々の生活が変わったり社会情勢が変わったりしてきたことを感じさせてもらえます。50年目の、この扇小で勤務できることを**不思議**に感じます。



## 7月13日(土) チャレンジ

本日は**算数**チャレンジの**○つけ**を行うために出勤。ほぼ全校の解答用紙に目を通しました。職員にも子供たちにも話すのですが、テストなどは**やり切る**ことが一番。○



付け後が勝負なのです。間違えたところを直すのが最大の学習です。失敗から学ぶ。反省から学ぶ。最後まで学ぶ。分からなかったら友達に聞くことが、浸透してきていることが「直しの用紙」から見て取れました。

## 7月12日（金）写真・硬筆・Can

卒業アルバム用の写真撮影の日。この日は委員会と周年行事実行委員、各クラスを撮影してもらいました。あいにくの天気ということで、クラス集合写真は教室で行うこととなりました。黒板をバックに撮るので、黒板にそれぞれが好きなことを書くこととなりました。そこに担任やクラスの象徴となる物を置くと、一つの作品が完成したかのようでした。拍手が起こりました。「泣きそう」などの声も聞こえてきました。

本日の朝、県内硬筆展に出品された子への賞状伝達を行いました。推薦賞が二人、すばらしい成績です。もらった賞状を教室に持って帰ったことで、友達が関心を持ってくれたようです。休み時間に作品を見に来る子が数名いました。その中に一年生の受賞者を伴って来た子がいます。私の顔を見つけて、「校長先生、この作品、〇〇さん、この子が書いたんだよ」と教えてくれました。誇らしい友達を紹介してくれたのです。

五年生の外国語。一人ずつ前に出て、自己紹介をしています。もちろん英語で。名前をいった後に、自分ができていることを話すことになっているようです。「I Can ○○」と話しています。「ベースボール」「ピアノ」「バドミントン」「クック」「プレイ・ギター」「スイミング」「サッカー」「ウェイトリフティング」など。私が聞き取れたのはこれくらいです

## 7月11日（木）走る・取材・好き

三年生の教室で授業を見ていると、廊下から歓声が聞



こえてきました。たくさんの子が声を抑えて驚いている声です。廊下に出てみると、理科で車を走らせています。車が走る先を見つめる三年生の後ろには、走力の元、エネルギーがありそうです。「20m突破」と聞くと、風力ではなさそうです(先日体育館の実験を見たので)。「輪ゴム一本」と、数人が声を抑えて教えてくれました。ゴムの力で車は走ったのでした。

本日は取材が2本ありました。いずれもアポなしです。朝訪れたのは、広報委員会の子。50周年を記念して何か新聞を作りたいということでした。休み時間に8人で来たのは四年生。国語で新聞を作るので取材がしたいとやってきました。扇小学校に残るこわい話、校長先生が体験したこわい話を聞かせてほしいとのこと。私も気持ちよく話していると途中で、チャイムが鳴りました。取材班は「やべっ」と記録も取らずに去ってしまいました。

3デイズチャレンジが終わりました。7人の向原中学生が職員室に挨拶に来ました。一人ひとりが感想を述べてくれました。「小学生は思ったよりかわかった」「先生の仕事はたいへんと思った」「とてもいい経験をした」などの言葉を残していきました。この中には、教職員として戻ってくる子、保護者として戻ってくる子がいるかもしれません。三日間、お疲れ様でした。



## 7月10日(水) 算数・応援団・好き

本日から数日間の間、算数の取組が二つあります。一つは算数チャレンジ。各学年二問ですが、合格するまで取り組みます。もう一つは算数のアンケート。どんな学び方が好きか、ジャンプ問題をどう思っているか、振り返りではどんなことを書いているかなどの意識を調べます。低学年には向原中学校生徒が入ってくれているので、たいへんありがたいお手伝いをしてくれました。

元気っ子タイムに応援団の集まりがありました。昨年優勝の白組に行くと、さっそく自己紹介が始まりました。



「6年2組〇〇です。今年も**白が優勝**できるようにがんばります」「6年3組〇〇です。去年も応援団でしたが、今年も**もっと大きな声**を出したいです」「5年3組〇〇です。**副団長**になったら、すごくがんばります」「5年4組〇〇です。**2連覇**を目指してがんばりたいです」などなど。同じように奪還を目指す**緑組**も決起集会があったはず。熱い戦いが始まりました。

一年生の国語では好きなことと**その理由**を友達に伝える学習が行われました。先生が手始めに「私が好きなことはキャンプでたき火をみることです。なぜかという、気持ち落ち着くからです」と話しました。「誰か同じように言える人？」と促すと、数人の手が挙がり発表が始まりました。「私が好きなことは**花火を見る**ことです。なぜかという、**きれいだから**です」「私が好きなことは**家にいる**ことです。なぜかという、**ほっとする**からです」などなど。すぐにマネができて、すばらしいと思いました。

## 7月 9日 (火) 向中・砂・合唱

向原中学校生徒が、**社会体験チャレンジ**で本校に来てくれました。3日間、担当するクラスで子供たちと生活してくれます。一時間目が始まるとさっそく扇っ子に**声**をかけてくれて、**ほめたり**、**教えたり**、**一緒に**考えたりしてくれました。扇っ子のことを聴いてみると、ほとんど生徒が「すぐ**仲良**くなった。かわいい」と言ってくれました。二年生、三年生の教室に一人ずつが入ってくれています。

一年生が**砂遊び**をしました。**生活の学習**です。学校で「学習」として設定しないと、**活動する機会**が少ないのです。一年生の子は、**泥団子**を作ったり、**川**を作ったり、**落とし穴**を作ったりと嬉々として活動していました。その活動の中にはルールがあり、友達と**肩くんで仲良**く活動します。泥団子一つに限っても、たくさんの**知恵**を出し合っている場面を見ました。体験的な学び合いが生活の学習で展開され、その**体験**によって**智恵**をつけていくのです。



笑いをこらえるのがたいへんだった微笑ましい場面に出くわしました。音楽です。前に出て二人が歌っています。テストのようです。他の子は感想を書きながら聴いています。とても良いクラスだと思ったのは、歌っている子に向かって複数人の子が応援をしているのです。もちろん黙って。踊ったり、ジェズチャーを送ったり、口パクで一緒に歌ったり、「がんばれ」「がんばれ」と声を出さずに声援(?)を送ったり。肩くんで仲良く、合唱テスト。



## 7月 8日(月) 風力・野菜・ソロバン

暑い体育館で学習していたのは三年生です。理科の学習です。風力を使って、作ったおもちゃがどれくらい走るか、その距離を調べていました。あるグループに密着していると、「弱」の風では6m80cm走りました。子供たちも予想以上の走りに驚いていました。ワクワクする中、風力を「強」にすると8m70cmの記録が出ました。汗を拭きながら、メジャーで距離を測り、距離を知って歓声を上げる子供たち、自走していました。



二年生が図工で「大きく育てびっくり野菜」の絵を書いていました。大きく書いているので、何の野菜を描いているか一目瞭然です。ニンジン、カボチャ、マスカット、ブドウ、スイカなどなど。「ニンジンだね」「トマトですね」と声をかけていると、一人だけが「不正解」を伝えてきました。「トマトじゃなくて、ミニトマトです!」。なるほど、大きく育てたので、ミニじゃなくなったんですね。



四年生がソロバンの学習をしていました。私が担任をしていた頃は、数を表せたかどうか一人ひとりのソロバンをチェックしていました。ノートと違って「持ってきて」というと、玉が途中で動いてしまうからです。この日は担任の智恵を感じました。指示された数をソロバンで表したら、それを写真に撮って先生に見せに行くことになっているのです。「合格」と言われると大喜びで自席に戻り、友達の支援をしていました。便利な道具PCのあり



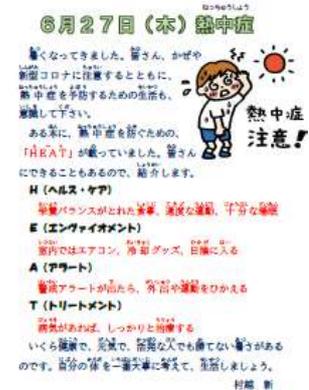
がたさを、日々感じています。

## 7月 7日(日) HEAT

6月27日に、扇っ子に「熱中症予防」メッセージを発信しました。「HEAT」を紹介しました。

- H (ヘルス・ケア) 栄養、運動、睡眠
- E (エンヴァイオメント) エアコン、冷却、日陰
- A (アラート) 外出や運動をひかえる
- T (トリートメント) 病気の治療

本日は、できるだけじっとしてようと思ってしまうほどの暑さでした。扇っ子もさすがに外で運動したり、走り回って遊んだりしていないでしょう



## 7月 6日(土) 感謝

熱中症を予防しなければならぬ日々が続きます。本日は涼しいうちに校長室に入り、仕事を進めました。刊行物等を整理していると、昨年度発行された「会報」(埼玉県公立小学校長会)に目が留まりました。中を見ると、昨年度退職された先輩方の寄稿文があります。約八十人の文章の中に最も多く登場する言葉、それが「感謝」でした。改めて今自分がこの職を続けていることを支えてくれる全ての人々に感謝をしないと、強く思いました。



## 7月 5日(金) 水道・粘土・練習

休み時間、四年生の子が数人、校長室扉をノックしました。用事は「水道の数を知りたい」ということ。例年、この手の質問や活動は事前に担任から知らされているものです。しかし今回の訪問者は、「調べたくなった」と担任にも知らせずにやってきました。私はこのような子たちが大好きです。正に自走する姿です。この自走集団は、校長室、職員室、会議室の水道を確認していきました。複数



できたのも、「みんなに信じてもらいやすいから」という理由がありました。

二年生がカラー粘土でかわいいものを作っていました。ネコ、ウサギ、トンボ、クワガタ、トトロ、オムライスなどなど、「何を作っているか」を訊ねると嬉しそうに答えてくれました。ある子に同じ質問をすると、持っていたハンカチを見せてくれました。「これを参考にした」と、並べて説明してくれました。私の大好きな言葉「ヒントはお前の足元に転がっている」を思い出しました。身近な物をヒントにしたオリジナリティ豊かな素敵な作品が完成すること間違いなしです。



二年生の道徳では、主人公が鉄棒の練習を続けた話を教材に学び合いました。主人公は、練習してできない技があっても、練習を続けました。主人公の気持ちについて。ある子が「できなかつたら悔しい。だから練習を続ける」と発言しました。その近くの子が「俺はやらない」とつぶやいた時、先生はそれを見逃しませんでした。「その気持ち聞かせて」と発言を求めます。するとその子は「やらないけど、三回は練習する。三回やってできなかつたら、やらないと思う」と本音を話してくれました。子の発言で、この後の学び合いはさらに盛り上がります。



## 7月 4日 (木) 法律・満足・お箸

六年生の道徳の授業で、「電車やバスの中でお年寄りに席を譲るのを法律にすることに賛成か」という問いがありました。子供たちはそれぞれの考えを持ち、学び合いました。「賛成」派の意見としては、「自分も将来譲って欲しい」「若者の独り占めは迷惑になる」など。「反対」派の意見は「体調が悪くて座っている人もいる」「譲ってもらったありがたみがなくなる」「誰にでも座る権利がある」などです。「譲った人には税金を下げるなど、特典をつけたらどうか」という意見も出てきました。



五年生の道徳では、隣の子の答えが見えてしまい、結果

満点を取った主人公の満足度を学び合っていました。「満足度0%や1%」とした子の考えは、「自分でやっていないから」「自力ではないから」「親は喜んでくれる」「見てしまった罪悪感が残る」など。満足度が少し高かった子の意見は、「わざと見たわけではない」「結果はうれしい」「自力でやった問題もある」「本当は90点だったから」など。PCで満足度を示しながら活発な学び合いが行われていました。



栄養教諭による「正しいお箸の持ち方」指導がありました。対象は一年生です。驚いたのは「さしばし」「よせばし」など、正しくない持ち方を知っている子もいたことです。説明もしてくれました。授業の終盤では「やってみたらできた」「何度もためてみたらできるようになった」と声をあげている子もいました。給食中、教頭と共にお箸の持ち方を見に行きました。多くの子が、正しく持ったお箸をこちらに向けて誇らしい笑顔を見せてくれました。



## 7月 3日（水）組・命・会議

運動会の色が決まりました。各クラスの代表の子が、緑が白の玉を引きました。白の玉を引けばその子のクラスは白組です。扇小では長年「緑が強い」と言われていました。昨年はその歴史を打ち破って、白組優勝でした。抽選会場は音楽室だったのですが、緑を引き当てたクラスから歓声が届いてきましたので、やはり「緑組になりたい」と願っていた子が多かったようです。運動会への戦いが始まりました。



五年生の理科で、子供たちがペットボトルを思いっきり振っていました。中には水と、四つの球が入っています。各班で一人ずつが全力で振った後、中を確かめると球はそのまま。壊れることはありません。次に中の水を抜き、同じ作業を一人がすると、すぐに四つの球は破壊されました。子宮内の羊水の学習でした。命が守られていることを実感した（見てるだけでも）活動でした。



入間市子ども**教育未来会議**が行われました。オンラインです。教育長と八校の小学校**代表2名**での会議です。

「**学び合い**の授業は好きですか」の問いには、本校代表は二人とも「○」を揚げました。指名され、理由も話しました。「いろいろな人と**コミュニケーション**がとれるから」「**友達**の**意見を知る**ことができるから」「**知らないこと**も**知ることができる**から」と明快に回答してくれました。



## 7月 2日 (火) 注意・似てる・長さ

四年生の道徳ではある問題で盛り上がりました。主人公の友達Aは、ある子Bに「サル」などと**からかい**の言葉を続けます。周りの子も一緒に言い始めました。主人公がAに注意ができるかどうか。「言っても**無視**される」「今度は**自分が言われる**」「**巻き込まれたくない**」という理由で注意はしにくいという意見が出ました。本音です。それに対して「**いじめ**になる」「今言わないと**続く**」「早く**先生**に言った方が良い」「自分がされて**嫌なこと**はしてほしくない」という意見も出ました。これも本音。とてもよい学びが展開されていました。



二年生の道徳では、主人公が母親から「ミニトマトに似てるね」と言われる場面があります。この時の主人公の気持ちを考えていました。「うれしい」「不思議」に留まることなく、とても良い意見が出てきました。「僕も**大切に**されているということ」「**育て**欲しいと言う気持ちと同じということ」「私がしっかりと**育てたい**」「私が元気でないとミニトマトを世話する人がいなくなる。だから**私も元気で**いないと・・・」。二年生が親心を考えたのです。



一年生が算数で長さ比べをしていました。隣の子と、鉛筆の長さを比較する活動。「**端をそろえる**こと」の確認を活動しながらしていました。机の上に2本の鉛筆を**立てたり**、机の端に2本の鉛筆の端をそろえて**並べたり**して直接比較をしていました。隣のクラスに行くと、四人で長さ比べをしていました。ジャンプの課題に突入していて、



「班で一番短い鉛筆」を探していました。それで終わらず、クラスの中で「短い鉛筆チャンピオン」を決めていました。チャンピオンの持ち主には、先生が「よく勉強したね。大事に使ったね」とほめていました。

## 7月 1日（月）喫茶店

本日は朝から出張でした。霞ヶ関の駅から歩いて会議の会場に行きます。すでに5回以上来ていますので、本日はいつもより早めに着きそうでした。途中、暑さと雨から逃れるために喫茶店に入りました。そこで、とっても懐かしい気持ちになりました。砂時計が出てきて、店主の方（女性が一人で切り盛りしています）「これが全部落ちたら、入れてください」と説明してくれました。お水のおかわりをお願いすると「あれ、入れなかったっけ」「朝、何食べてきたの」などなど、色々と話しかけてきます。店内のお客は私一人。20分ほどいましたが、とっても癒やされました。

